

令和5年4月12日

各位

会社名 株式会社 F F R I セキュリティ
 代表者名 代表取締役社長 鵜飼 裕司
 (コード番号: 3692 東証グロース市場)
 問合せ先 常務取締役最高財務責任者 田中 重樹
 (TEL. 03-6277-1518)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和4年5月13日に公表した令和5年3月期(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

令和5年3月期通期連結業績予想数値の修正(令和4年4月1日~令和5年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,920	46	56	37	4.62
今回修正予想(B)	1,952	203	241	181	22.83
増減額(B-A)	31	156	184	143	
増減率(%)	1.7	335.9	324.3	385.0	
(ご参考)前期実績 (令和4年3月期)	1,779	103	156	120	14.96

2. 修正の理由

国際社会のサイバー領域をめぐる争いは、ロシアのウクライナ侵攻の影響を受けてますます加熱しています。我が国においては、欧米諸国並みのサイバー能力保有を目標とした、国家安全保障及び経済安全保障の新たな指針となる防衛3文書が策定されるなど、ナショナルセキュリティの市場規模が急速に拡大しています。当社グループは、日本発・純国産のサイバーセキュリティ企業としてこれらの需要増加に対応するため、セキュリティエンジニアの採用を強化し、将来の需要増加を取り込める体制整備を進めております。セキュリティエンジニアの採用強化にあたっては、国内セキュリティ人材は不足傾向にあるため、高コストの採用を想定しておりましたが、サイバーセキュリティに関する経験の有無に関わらず、当社が求めるコンピューター工学の基礎力が高い人材を中心に採用を進めた結果、人件費および採用費が想定よりも減少しました。また、持分法適用会社である株式会社エヌ・エフ・ラボラトリーズも案件の増加により当初計画を上回る見通しとなり、営業外収益が前回発表予想を上回る見通しとなったため、業績予想を修正いたします。

なお、採用したセキュリティエンジニアは社内の教育プログラムにより早期の戦力化を進めており、現時点で次年度に想定している案件の受注に必要な十分な体制が構築できております。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以上